

Ref Doc 1942

文書ノ出所並ニ成立ニ關スル證明書

自分、土肥一夫ハ復員廳第二復員局資料整理部史
實班長ノ職ニ居ル者ナル處、茲ニ添附セラレタル
日本論ニ使シテ書カレ三頁ヨリ成ル大海陸第六十
一號ト題スル書類ハ日本政府（復員廳第二復員局）
ノ保管ニ係ル公文書ノ故奉ノ正確ニシテ眞實ナル
寫ナルコトヲ證明ス

昭和二十二年七月十日 於東京

土 肥 一 夫 (印)

石巻名簿印ハ自分ノ面前ニ於テ爲サレタリ

同 日 於 同 所

立會人 宗 官 信 次 (印)

Def Doc 1942

大海指第六十一號

昭和十七年三月一日

軍令部總長 永野修身

- 古賀支那方面艦隊司令長官
- 豊田吳鎮守府司令長官
- 平田橫須賀鎮守府司令長官
- 小林舞鶴鎮守府司令長官
- 谷本佐世保鎮守府司令長官
- 坂本鎮海警備府司令長官
- 山本馬公警備府司令長官
- 大熊大湊警備府司令長官
- 小林大阪警備府司令長官

ニ指示

爾今敵國並ニ一級中立國船舶ノ處理ニ關シテハ左ニ
準據スベシ

- 一 所管海域ノ哨戒ヲ實施シ敵國船舶並ニ之ニ準ズベキ
中立國船舶ハ之ヲ拿捕又ハ拘留ス
- ニ 純中國船舶トシテ取扱フベキ諸國ヲ左ノ通りトス
蘇聯邦 西班牙、葡萄牙「アルゼンチン」
知利、土耳其 瑞典 佛蘭西（「ドゴール」政
權治下ヲ除ク） 瑞西

Def Doc 1942

文書ノ出所竝ニ成立ニ關スル證明書

自分、土肥一夫ハ復員局第二復員局資料整理部史
實班長ノ職ニ居ル者ナル處、茲ニ添附セラレタル
日本書ニ依リテ書カレ三頁ヨリ成ル大海陸第六十
一號ト題スル書類ハ日本政府（復員局第二復員局）
ノ保管ニ係ル公文書ノ致奉ノ正確ニシテ眞實ナル
寫ナルコトヲ証明ス

昭和二十二年七月十日 於東京

土 肥 一 夫 (印)

右署名捺印ハ自分ノ面前ニ於テ爲サレタリ

同 日 於 同 所

立會人 宗 官 信 次 (印)

Ref Doc 1942

- 三 前項記載國以外ノ中立國船舶ハ一應之ヲ敵國船舶ニ準ジ取扱フモノトス
- 四 一般外國船舶ノ取扱ニ關シテハ法規ノ定ムル所ニ從ヒ正規ノ手續ヲ履ムヲ原則トス、情況已ムヲ待ズ「正規ノ手續ヲ履ムコト能ハズシテ」之ヲ擊沈シタル場合ハ爾後能ク限リ人命ノ救助ヲ努ム
- 五 敵國並ニ蔣介石政權側ノ軍人、軍屬、高級船員、技術者及政府要人等ハ之ヲ捕虜トスルヲ立前トス

(附令)

大海指第十四號、同第十五號及同第二十八號ハ之ヲ廢ス